nikko am
Nikko Asset Management

Fund Information

販売用資料

2020年4月2日
日興アセットマネジメント株式会社

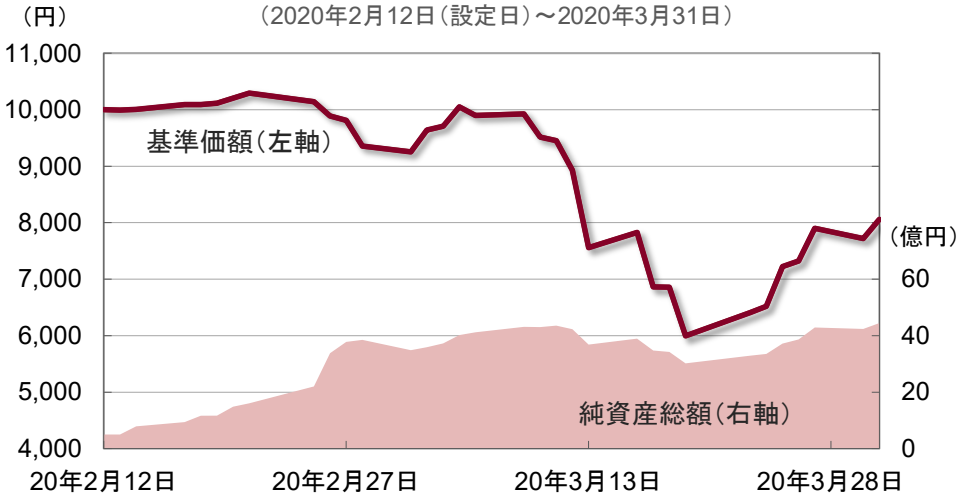
グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)
愛称:ゴーゴー・バランス

設定来の基準価額の推移について

※ 当資料では、世界の株式、REIT、債券および金の4資産への分散投資にあたり、先物取引の活用によって純資産総額の5.5倍相当額の投資を行なう運用手法を「5.5倍バランス」としています。また、純資産総額の範囲で4資産に分散投資を行なう運用手法を「1倍バランス」としています。

2020年2月12日に設定した当ファンドは、2月末以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴なう金融市場の動揺を受け、大きく下落しました。本資料では、当ファンドが投資する各市場の**代表的な指数を用いて組入資産の動向を簡便的にご説明**するとともに、**過去の下落局面におけるシミュレーション**についてご紹介いたします。

＜基準価額と純資産総額の推移＞
(2020年2月12日(設定日)～2020年3月31日)



(2020年3月31日現在)

基準価額
8,059 円
設定来の騰落率
▲19.4%

純資産総額
44 億円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

【当資料で使用した指数について】

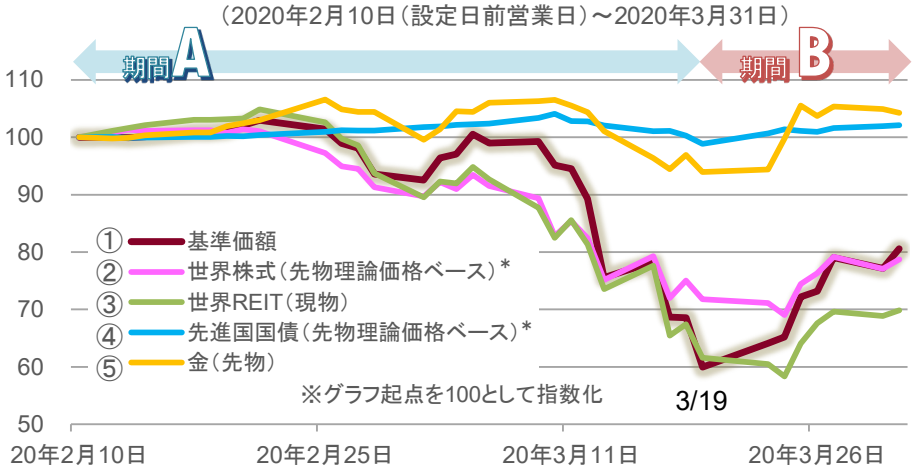
本資料で使用した指数は次の通りです。
世界株式(先物理論価格ベース):MSCI ACワールド指数(配当込、為替ヘッジあり、米ドルベース)から米ドルの1ヵ月物金利を控除したもの、世界REIT(現物):S&P先進国REIT指数(配当込、円ベース)、先進国国債(先物理論価格ベース):FTSE世界国債インデックス(為替ヘッジあり、円ベース)から日本円の1ヵ月物金利を控除したもの、金(先物):ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターン*ベース)
* エクセスリターンとは、先物取引のロールオーバーなどを考慮した指数です。先物取引がオフバランス取引であることや現地の金利が排除されていることなどから、現物資産への投資に為替ヘッジを行なった指数と概ね同じような値動きになります。

5.5 ゴーゴー・バランス
当資料は、投資者の皆様に「グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型) 愛称:ゴーゴー・バランス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

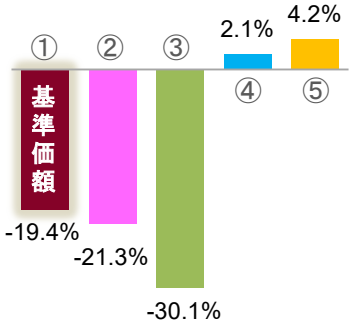
基準価額と各資産の推移

新型ウイルスの感染拡大に伴なう世界経済の後退懸念や、原油価格の急落などを受け、金融市場は大幅な調整局面を迎えました。ただし、足元では各国政府が矢継ぎ早に大規模な景気対策を打ち出したことなどから、市場は下値を探る動きをみせています。そうした中、当ファンドの基準価額も変動の大きな展開となりました。

＜当ファンドの基準価額と各資産の推移＞
（2020年2月10日（設定日前営業日）～2020年3月31日）



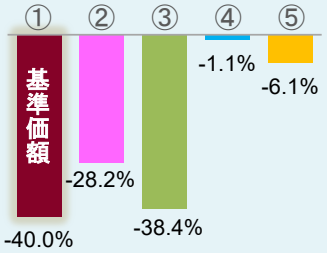
＜設定来の騰落率比較＞



＊先物理論価格ベースとは、各資産への投資に際して先物取引を用いると仮定した場合のリターンを示すために、日興アセットマネジメントが各資産の為替ヘッジ指数を用いるなどして算出したものであり、実在するものではありません。

期間A

市場全体が大きく調整する中、基準価額は大幅に下落

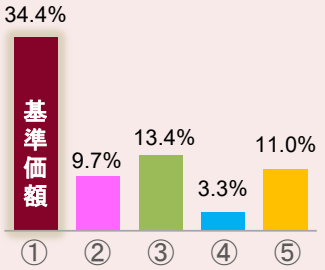


- 2月下旬以降、新型ウイルスの感染が各地に拡大したことを受け、**世界景気の減速懸念が台頭**
- 3月6日のOPEC（石油輸出国機構）プラス会合での協議決裂を機に、**原油価格が急落**
- 各国・地域の政府や中央銀行が経済対策を講じるものの、新型ウイルス感染拡大の収束見通しが立たない中で、**市場の反応は限定的**となる

期間B

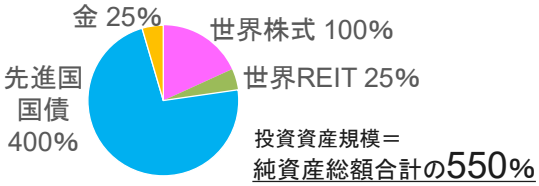
（2020年3月19日～3月31日）

市場が底打ちを模索する中、基準価額は比較的大きな反発を見せる



- 米欧の主要中央銀行が利下げや量的緩和、資金供給など**大規模な金融緩和**を相次いで決定、また、ドイツで**大型の経済対策**が承認されたことや、米政府の**2兆米ドル規模の経済対策**が最終合意に至ったことなどが好感され、世界の金融市場が反発

ご参考 ＜当ファンドの資産配分比率＞



（信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成）
※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
※ 海外資産は前営業日の価格が基準価額に反映されるため、各指数は前営業日の値を用いて計算しています。各指数に含まれる国内の資産は本来、基準価額の算出日における価格を用いますが、本資料では便宜上、前営業日の数値をもとに計算しています。
※ 上記で使用した指数は、1ページをご参照ください。なお、使用した指数は当ファンドのベンチマークではありません。
※ 左記はイメージ図です。実際の運用は純資産総額合計の550%とならない場合があります。また、資産毎の比率も変動します。左記は資料作成時点のものであり、投資対象資産および資産配分比率は変更される可能性があります。
※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「グローバル5.5倍バランスファンド（1年決算型） 愛称：ゴーゴー・バランス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

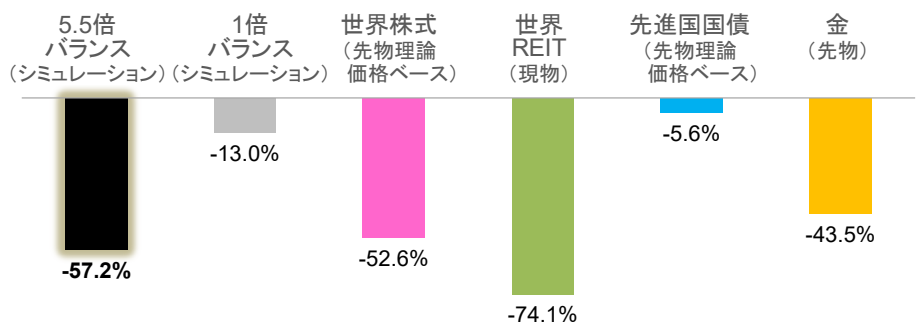
＜ご参考＞「5.5倍バランス」の過去のシミュレーション

世界的な金融危機に見舞われた2008年から2009年にかけて、「5.5倍バランス（シミュレーション）」は大きく下落しました。ただし、5.5倍バランスの最大ドローダウンは、異なる値動きの資産が下落を打ち消しあう**分散投資効果などにより、1倍バランス（シミュレーション）の5.5倍よりも小幅にとどまりました**。

なお、その後は**リバランス効果などが奏功**し、5.5倍バランスは**リスク性資産に比べ、早期に回復**しました。

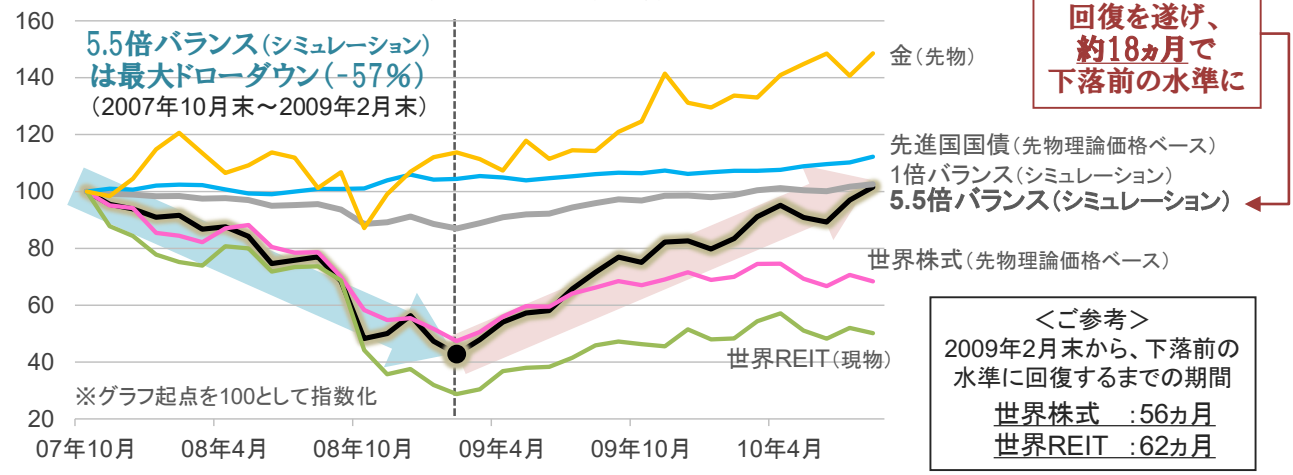
下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。

＜ご参考：各資産とシミュレーションの最大ドローダウン＞
（2003年3月末～2019年11月末、月次）



最大ドローダウンとは？
高値から最も下落した期間の下落率
（最も悪いタイミングで投資を行なった場合の下落率）

＜ご参考：最大ドローダウンの時期とその後の回復局面の推移＞
（2007年10月末～2010年8月末、月次）



その後、力強い回復を遂げ、約18ヵ月で下落前の水準に

＜ご参考＞
2009年2月末から、下落前の水準に回復するまでの期間
世界株式　：56ヵ月
世界REIT　：62ヵ月

上記の5.5倍バランスは、投資者の皆様に当ファンドの運用についてご理解いただくために、当ファンドが投資する各市場の代表的な指数を当資料作成時点の資産配分比率で合成、現金部分に対する日本円の1ヵ月物金利を加味し、月次リバランスをした結果であり、実在するポートフォリオの推移ではありません。また、上記の1倍バランスは、5.5倍バランスのシミュレーションと同指数を用いて、5.5倍バランスの各資産配分比率を5.5で除した比率で合成し、月次リバランスをした結果であり、実在するポートフォリオの値ではありません。
上記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの実際の運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴なう資金流出入、実際に行なうリバランスのタイミングなどによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様になることを約束するものではありません。

（信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成）
※ 先物理論価格ベースとは、各資産への投資に際して先物取引を用いると仮定した場合のリターンを示すために、日興アセットマネジメントが各資産の為替ヘッジ指数を用いるなどして算出したものであり、実在するものではありません。
※ 上記で使用した指数は、1ページをご参照ください。なお、使用した指数は当ファンドのベンチマークではありません。

改めてお伝えしたい、当ファンドの特性

ゴーゴー・バランスは、先物を活用して純資産総額の5.5倍相当額の投資を行なうことから、一般的なバランスファンド（例えば1倍バランス）に比べ、リスク（値動きのブレ）が高く、過去のシミュレーションでは大きく下落する場面もありました。

しかし、当ファンドを長期保有していただくことで、ファンドの特性である、**「先物取引の積極活用」**、**「分散投資」**、**「リバランス効果」**などが複合的にプラスに働くことが期待されます。

先物取引の積極活用

レバレッジ効果

先物取引を用い、少ない資金で大きな資産に実質的に投資することを、レバレッジ（てこ）効果といいます。当ファンドでは、先物取引を積極活用することで、**投資規模の「5.5倍化」**を実現します。

為替変動リスクが限定的

先物取引の決済は差金決済となるため、為替変動リスクが及ぶのは、**原則として外貨建て証拠金と評価損益部分に限定**されます。

分散投資

有事に強い「金」にも投資

当ファンドは、一般に**有事に強いとされる金**にも投資を行ないます。その他の資産については、市場全体を概ね捉えることをめざし、**世界の資産に幅広く投資**します。

リスク性資産に対する相関を低くする仕組み

債券や金への投資に先物取引を活用することで、投資家のリスク回避局面でも円高の影響が限定的となり、**株式やREITとの低い相関**が期待できます。

リバランス効果

特定の資産の影響を受けにくい

資産配分比率は、「株式・REIT」と「債券・金」のリスクの大きさが概ね同程度となるような比率*としています。よって、リバランスにより、**特定資産の価格変動の影響を受けにくくなる効果**が期待できます。

下落後の反発にも効果を発揮

“下落した資産を買い、上昇した資産を売る”ことで、**下落した資産が急反発した場合の恩恵**を受けやすいなどの効果が期待されます。

＊設定時において、過去データに基づき、定めています。

※当ファンドの特徴や投資対象資産などについては5ページをご参照ください。

これらによる複合的な効果は、当ファンドを長期保有していただくことによって「複利の効果」を増大させ、累積リターンの積み上げにつながると期待されます

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

ファンドの特色

1 **世界の株式、REIT、債券および金の4資産への分散投資により、収益の獲得をめざします。**

2 **先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の5.5倍相当額の投資を行ないます。**

3 **年1回、決算を行ないます。**

■毎年12月21日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

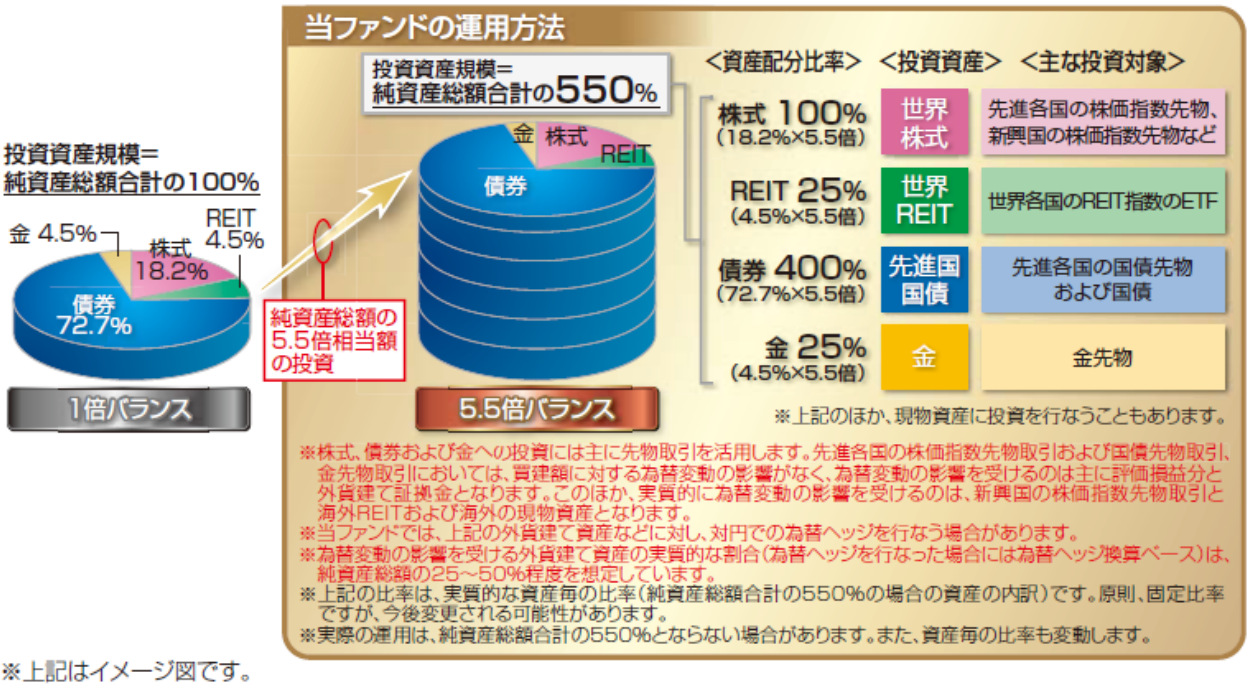
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資対象資産と実質的な資産の内訳について

■当ファンドは、世界の株式、REIT、債券および金の4資産に、幅広く分散投資を行ないます。株式、債券および金への投資において、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の5.5倍相当額の投資を行ないます。



※上記はイメージ図です。
※上記の「1倍バランス」の資産配分比率は、「5.5倍バランス」の実質的な資産配分比率を5.5で除して（端数は四捨五入）計算したものであり、実在するポートフォリオではありません。
※上記は資料作成時点のものであり、投資対象資産および資産配分比率は、変更される可能性があります。

【お申込みに際しての留意事項】

リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。
なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、上場投資信託証券および株価指数先物取引・国債先物取引・金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、債券、上場投資信託証券および株価指数先物取引・国債先物取引・金先物取引にかかる権利の価格の下落や、債券および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】【レバレッジリスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「グローバル5.5倍バランスファンド（1年決算型） 愛称：ゴーゴー・バランス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2029年12月21日まで（2020年2月12日設定）
決算日	毎年12月21日（休業日の場合は翌営業日）
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日　・ニューヨークの銀行休業日 ・ニューヨーク商品取引所の休業日　・シカゴ商品取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日　・ロンドンの銀行休業日 ・ユーレックスにおけるすべてのデリバティブ取引に共通の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。
＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内 ※ 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※ 収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.089%（税抜0.99%） ※ この他に、投資対象とする上場投資信託証券には運用などに係る費用がかかりますが、投資する上場投資信託証券の銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕　www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

【投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ａｕカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第128号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○		○	
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長（金商）第1号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（資料作成日現在、50音順）